

障害年金受給支援講演会



参加者130名
熱心に聞き入る

5月12日、日本福祉大学の青木先生の紹介で障害年金専門の中島由恵氏（社会保険労務士）を招いて講演会を開催しました。

講演では、初回申請時の「認定日請求（遡及請求）」と「事後重症」、年金受給開始後の「現況届」と「額改定請求」、不服申立の制度活用など申請時の要点、注意点を受給に成功した事例を紹介しながら、「制度を知らないために受給で

きない不幸をなくしたい」と熱く語り、参加者に「あきらめない」ことを呼びかけました。

アンケートは家族 52 人、当事者 13 人、PSW30 人、その他 10 人、合計 105 人から提出され、関心の強さが示されました。

精神障害者の障害年金受給支援の研究会発足

講演会後の関係者の懇談会で、学識者、家族会、PSW、社労士合同の「研究会」を発足させることになりました。第1回の会合は6月24日に開催されます。名家連からは会長・事務局長がメンバーとして参加します。

～ 理事会へ手帳・年金の現況調査を提案 ～

各家族会においても「受給要件がないため無年金」「国民年金2級は厚生年金なら3級」「申請したが却下された」「等級は変わらないもの」と思い込んでいる方々がいるのではないのでしょうか。障害年金は家族・当事者にとっては死活問題です。障害年金受給支援の活動を展開するために障害年金の現況調査票を5月理事会に提案します。

29日（金）は愛家連大会、30日（土）は名家連理事会と連続しますが、全家族会参加で活動に弾みをつけましょう。年会費もお忘れなく。